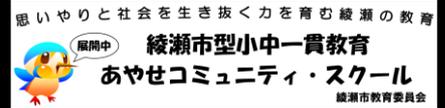


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について (中学校) 綾瀬市教育委員会



## 1 調査について

令和6年度全国学力・学習状況調査が、令和6年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象とした悉皆調査として、教科に関する調査(国語及び数学)と質問調査を実施したことを受け、この調査結果を本市の児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つとし、今後はこの分析をもとに、指導の改善を図り、学力向上につなげてまいります。

## 2 教科に関する調査の平均正答率と平均正答数

中学校		国語	数学
綾瀬市	正答率	55%	47%
	正答数	8.2/15問	7.5/16問
全国(公立)	正答率	58.1%	52.5%
	正答数	8.7/15問	8.4/16問

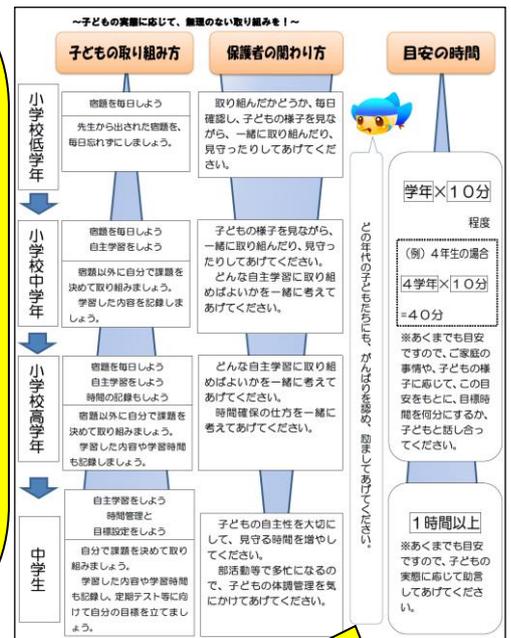
## 3 確かな学力の向上に向けて

- 綾瀬市型小中一貫教育に取り組み、9年間を見通した系統的な学びを実践しており、「授業での振り返り」と「家庭学習の習慣化」を推進しています。
- タブレット端末を効果的に活用した授業改善に努めるとともに、「学習支援者」の配置により配慮の必要な生徒への学習支援を行います。
- 少人数学級や少人数指導の実施など、きめ細かな指導体制を進めます。
- 読書の充実を図るために、学校司書の配置、学校図書館の充実等の読書環境の整備に努めます。
- 「あやせ学びづくり運動」「あやせ家庭読書・ふれあいの日～あやせゼロの日運動～」や、あやせコミュニティ・スクール等を通して、家庭・地域との連携を深めていきます。



○綾瀬市では、小中一貫教育の取組の一つとして、児童・生徒が安心して授業に臨めるように、「授業スタイルの共通化」に取り組んでいます。

○特に、めあて(目標)を明確にすることや、めあてに沿って振り返ることを大切にしています。



○綾瀬市では、「家庭学習の手引き」を作成し、学校と家庭が連携した家庭学習に取り組んでいます。





数学問題



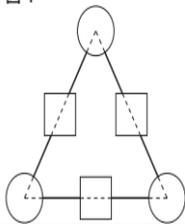
数学正答例

- 全 16 問中、正答率が 80% を上回ったのは 1 問で、50% を下回ったのは 9 問となっています。
- 正答数の中央値が全国と比較して 1.0 問下回っています。
- 全 16 問中、全国と比較して無回答率が下回ったのは 1 問で、その出題の趣旨は「簡単な場合について、確立を求めることができる」〔5〕となっています。

正答率が最も高かった問題

6 次の図 1 は、正三角形の 3 つの頂点に ○ を、3 つの辺に □ をかいたものです。○ には整数を 1 つずつ入れ、□ にはその □ がかかれている辺の両端の ○ に入れた整数の和が入ります。

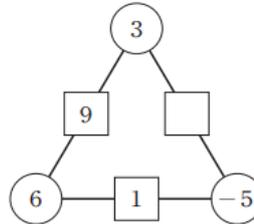
図 1



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 下の図の □ に入る整数を求めなさい。

【正答】 -2



◆問題番号：〔6〕(1)

◆問題の概要：

正三角形の各頂点に ○ を、各辺に □ をかいた図において、○ に 3、-5 を入れるとき、その和である □ に入る整数を求める。

◆出題の趣旨：

問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる。

正答率が最も低かった問題

8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を 6 時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 L の灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

説明書の情報

ストーブの設定	強	弱
1 時間あたりの灯油使用量 (L)	4.0	2.5

結衣さんは、ストーブを 6 時間使用して、18 L の灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることにしました。そのために、18 L の灯油が入ったストーブの「強」の場合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係調べることにしました。

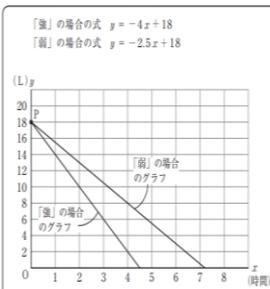
そこで、結衣さんは、説明書の情報の 1 時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてから  $x$  時間経過したときの灯油の残量を  $y$  L として、「強」の場合と「弱」の場合の  $x$  と  $y$  の関係をそれぞれ  $y = 18 - 4x$ 、 $y = 18 - 2.5x$  と表しました。そして、この 2 つの式をそれぞれ  $y = -4x + 18$ 、 $y = -2.5x + 18$  と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。

(2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから 18 L の灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

【正答】  
アを選択して

(説明) 「強」の場合の式と「弱」の場合の式について、それぞれの式に  $y = 0$  を代入し、 $x$  の値の差を求める。

ストーブの使用時間と灯油の残量



◆問題番号：〔8〕(2)

◆問題の概要：

18 L の灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。

◆出題の趣旨：

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

【指導の改善に向けて】

～問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにすることについて～

様々な問題を数学を用いて解決できるようにするために、問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れることが大切です。その際、数学を活用する方法を説明できるように指導します。

～問題解決の過程や結果を基に統合的・発展的に考察できるようにすることについて～

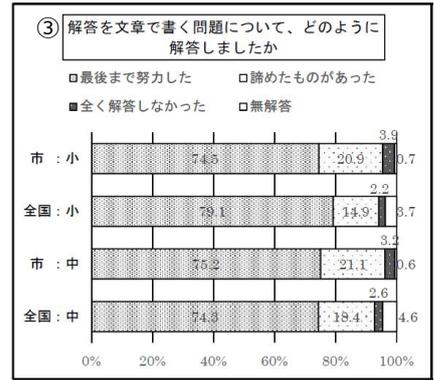
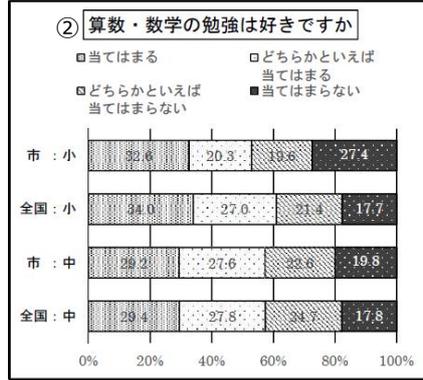
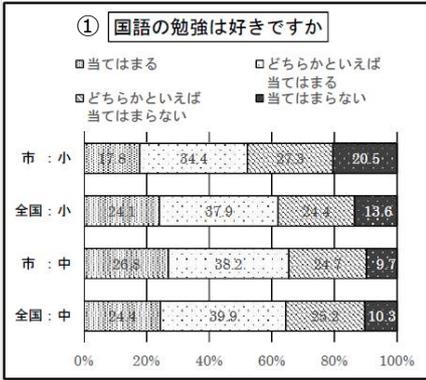
図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験などの活動を通して、成り立つと予想される事柄を見だし、その事柄が成り立つことを論理的に考察し表現できるようにするとともに、条件を変えても成り立つ事柄を見だすなど、統合的・発展的に考察できるように指導します。

～データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにすることについて～

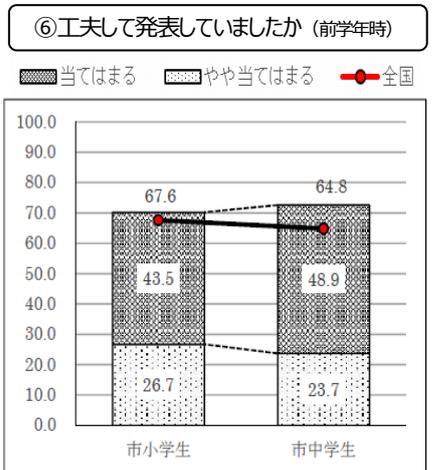
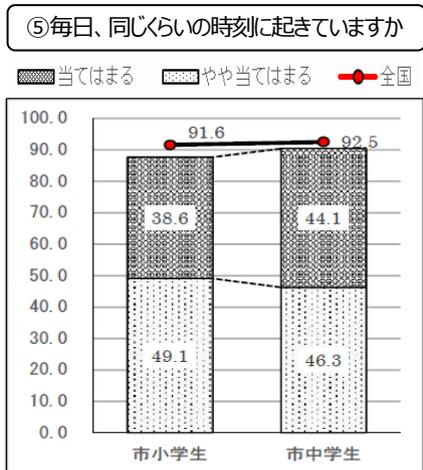
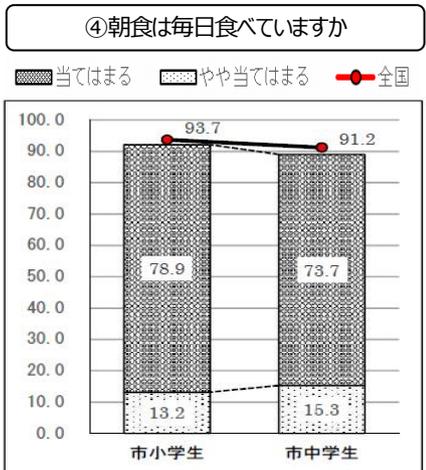
データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるように指導します。

# 【児童・生徒質問調査の結果の分析】

## 児童・生徒質問調査



○「国語（中学生）、数学（中学生）の勉強は好きですか」については、全国より上回る傾向にあり、文章を書く問題についても、全国より上回る傾向にあり、約75%が「最後まで努力した」と回答しています。  
○今後も引き続き、児童・生徒が「国語、数学（算数）の勉強が好き」と感じるような授業づくりに努めていきます。

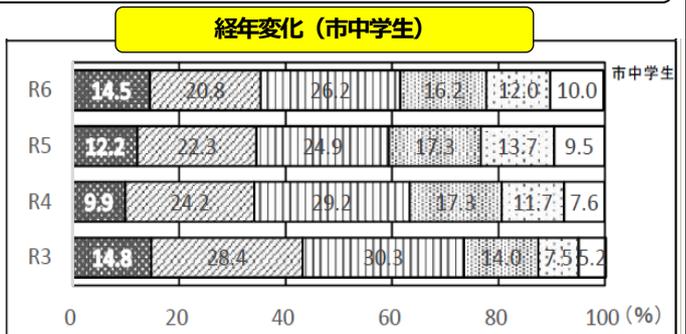
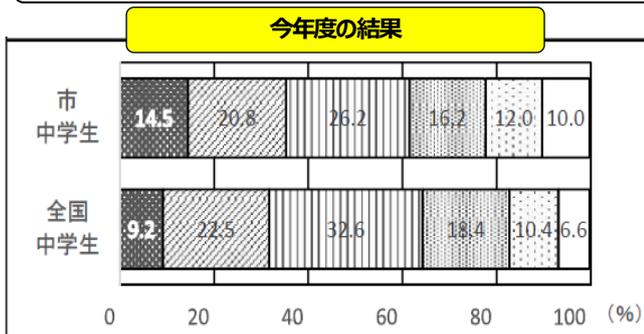


○「朝食は毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、「当てはまる・やや当てはまる」の回答が小学生・中学生ともに90%前後となっており、定着が見られます。  
○「工夫して発表していましたか（前学年時）」については、「当てはまる・やや当てはまる」の回答が小学生・中学生とも全国より上回る傾向にあり、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表をしていることが分かります。

## 御家庭と協力したいこと ～家庭学習の習慣化～

■ 3時間以上 ■ 2～3時間 ■ 1～2時間 ■ 30分～1時間 ■ 30分未満 □ 全くしない

### 普段（月曜から金曜日）の日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか（生徒質問調査から）



○家庭学習の習慣化を目指していますが、全国平均と比べると、家庭学習の時間については2極化がうかがえます。帰宅後の家庭での時間の使い方を、改めて見直してみることも大切です。お子さまが自分で学習の計画を立て、自主的に学習に取り組めるよう、学校でも伝えてまいります。御家庭でも引き続き温かい言葉かけや励ましをお願いいたします。